

## 【分科会】(五十音順・敬称略)

■「経済実験(慶應義塾大学、予約)」  
(大阪・東京会場) 赤林 英夫・大垣 昌夫

■「ホームスクールだからこそできる！  
英語脳の作り方！」  
(大阪・東京会場) 伊澤 聡一郎&恵美

6年前、ホームスクーリング開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。張り切って始めたものの成果がなかなか見えず、何度も挫折しました。しかし、試行錯誤を繰り返し、わが家なりの方法を見つける中で、5歳～15歳の4人の子どもたちは全員、英語で話し、英語の映画やペーパーバックを自然に楽しむようになりました。最初の数年は、自分の子どもが英語を話す日が来るとは想像すらできませんでしたが、今では、自由に時間を使えるホームスクールであればこそ、英語脳は育てられると感じています。多読多聴、スカイプ英会話等、GrapeSEEDに加えて実践してきた取り組みやこれまでの成長の過程をご紹介します。(2016年の分科会のアップデート版です。)

■「教会を建て上げるホームスクーラー」  
(大阪会場) 伊藤 義和&こずえ

私たちがホームスクーリングを考え始めたころから今日に至るまで、いつも中心には「教会を建て上げる」願いがあります。ですから、開始当初は、教会の皆さんの理解を得るための最大限の努力を惜しまず、現在も、家族総出(笑)で、主の教会を建て上げていく働きを中心に、ホームスクールが導かれています。とはいえ、日常に追われ、家族のことや勉強の進み具合で頭がいっぱいで忙しく、教会のことや兄弟姉妹のことまで心や思いがいかないことも多くあります。毎日の生活や近況の話を交えながら、勉強スケジュールと教会プログラム等の優先順位、時間配分とバランス、数多くの失敗談からも分かち合うことができればと思っています。

■「チャーチ&ホームスクーリング  
-必ず聞かれる20の質問」  
(大阪・東京会場) 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチ&ホームスクーリングって？」。この17年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

■「天のお父さん最高！」  
(大阪会場) 乾 亮介&奈々

私たちが初めてチアコンベンションについて、ホームスクールについて知ったのは、2003のHAZAH 7月号でした。あれから、このホームスクールという旅が始まりました。(現在息子は18歳、娘は16歳) 私たちはどこにでもいる日本人の普通の家族です。でも、一緒にいてくださる天のお父さんは最高の方でした！「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。…主はその愛する者には、眠っている間に、このように備えてくださる。」このお父さんがしてくださったことをシェアしたいと思います。(皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！)

■「わたしの恵みはあなたに十分である。Ⅱコリント12:9-弱さの中に完全に現れてくださる主」  
(東京会場) 井上 正人&知恵

長女の子育てに悩みクリスチャンとなり、不登校を通してホームスクーリングに導かれた井上ファミリーの歩みを、母と娘の関わりを中心にお

話しします。24歳になり、アメリカでバレエ修行中の長女こづえも、現在の思いをお話させていただきます。

■「違いを生む子育てを目指して」

(東京会場) 植野 伸一&愛

3人の子どもたちとのホームスクールの現状をお話しします。そして、Iサムエル記2-3章に描かれる幼少期のサムエルからクリスチャンホームの子育てにおいて大切なことを共に学びたいと思います。

■「聖書に基づく地球史(1):ヨブと氷河時代」

(大阪・東京会場) 宇佐神 実

氷河時代はあったのでしょうか。あったなら聖書の歴史でどこに当てはまるのでしょうか。実はヨブが生きていたのは氷河時代であったことを示唆する記述がいくつも記されています。この話を通して子供に氷河時代を尋ねられてもきちんと答えることができます。聖書に基づく地球の歴史を学んでみませんか。

■「聖書に基づく地球史(2):

聖書に基づく地質年代」

(大阪・東京会場) 宇佐神 実

創造主の存在や聖書を信じない科学者は、地層を進化論に基づいて何億年もの歴史の証拠だと考えました。しかし、聖書に基づいて考えるなら、同じ地層を聖書に出てくる出来事の証拠であることをはっきりと示すことができます。天地創造の時、ノアの洪水の時、その後にできた地層がわかると、子供にも自信を持って地質年代表の時代区分が間違いであることを示すことができます。聖書に基づく地球の歴史を学んでみませんか。

■「文化の中味を入れ替える」

(大阪会場) 大久保 みどり

日本人は救われるのは難しくないとはいえ、信仰

生活を継続するのが難しいとされています。文化、伝統との戦いが大きいことがその一因と言えます。未来を担う子どもたちが日本文化の伝統を単に踏襲する、あるいは壊すと言うのではなく、伝統を踏まえながら、よりよい伝統を生み出していく。真理と愛を握っているのはクリスチャンなので、全てを生かすことができる筈なのです。そういう教育ができればと願います。日本人は形から入り形を重んじますが、中味がありません。中味を入れ替えることがクリスチャンにはできるので、希望があります。

■「子をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。箴言22:6」

(大阪・東京会場) 太田 仁一

神は3歳ごろから12、13歳ごろまでの子どもに大きな、すばらしい力を与えられました。例えばこの時期に幾つかの言語を学ばせることができれば、その言語はその子にとって母語と同じように読み、書き、話すことができるようになります。音楽、スポーツなどもその目的があれば、この時期に始めるのは意味あることです。この大切な時期に子どもに何を教えるか、私たち大人が責任をもって考えなければなりません。

■「ホームスクールの教材について

—高学年から中学生」

(大阪会場) 竿代 健

始めたころは、まだ幼児だった子どもたちも、いよいよ長男が中学生になる年齢になりました。通信教材や問題集など、色々な教材を用いて勉強してきました。高学年からぐっとレベルが上がり、英語も加わり、勉強に対応するため使う教材も変化がありました。今回は、教材にだけのをしぼり、ベネッセなどの通信教材、くもんなどの問題集、スタディサプリなどのインターネット教材などの特徴を簡単にまとめてお話ししたいと思います。また、私も模索中ですので、お勧めの教材を紹介していただく場や、使用されている教材の感想など

の意見交換の場になれば、と思っています。

■「お父さん集まれ!

(男性限定、将来のお父さんも参加可)

(東京会場)

志賀 信泰

ホームスクーリングを始めて6年目に突入しました。これまでに多くのホームスクーリングパパとお知り合いになりましたが、じっくりお話をすることが出来た方は非常に限られています。この分科会ではお互いの自己紹介をしっかりとした後、ホームスクーリングパパ特有の悩みを中心に分かち合う時を持ちます。お互いの悩みに対して解決策を示し合うのではなく、まず共感することを大事にします。この時を通して、今後深い話ができるお父さん同士のネットワークが育つことを願っています。性教育の話もざっくばらんにできるように、誠に勝手ながら今回は男性限定の試みとさせていただきます。

■「正しい歴史観をもつために

(学校で刷り込まれる歴史観)

(大阪会場)

末宗 宣行&百合子

明治時代から終戦まで、国家のために命を捧げるような洗脳教育が学校でなされてきました。学校教育の中で、教育勅語等が用いられ、思想教育が徹底的になされました。現在、教育も含めて、再び明治時代の政治体制に戻そうとするような風潮があるのを皆さんも感じておられるのではないのでしょうか。私たちの住んでいる広島県では、今でも、戦争の爪痕を実際に見ることができます。チャーチ&ホームスクーリングの子どもたちは、真っすぐな目で歴史を見つめ、歴史の中にある真実とファンタジー的な偽りの領域を見分けながら学ぶことができます。そして国、地域のための確にとりなし、祝福を祈る働きが委ねられていると信じます。

■「親子で実践できるプレゼンテーション」

(東京会場)

関 智征&知香

日本の教育は、「読み書き算盤」が重んじられてきました。他方、話す訓練が軽んじられてきました。私自身、長らく人前で話すことが苦手でした。しかし、仕事上、人前で話さざるを得ない状況の中に追いやられました。その中で、適切なトレーニング次第で、自分の想いをより相手に伝えられることを体験してきました。説教、大勢の前でのスピーチ方法など、共に学べたらと思います。「1分スピーチ」ワークショップも行います(ワークショップは先着10名)。

■「気がつけば、今年ホームスクール9年目に突

入!!すごい、これこそが神の恵み、神の導き」

(大阪会場)

竹橋 賢一&祐子

ホームスクールを始めると決心した時から現在に至るまでの間、父として主に信頼して従った時に受けた様々な祝福などを、お話させていただきます。(賢一)

私自身が驚きですが、気が付いたらホームスクーリング9年目になります。当初、子どもたちをどの様に育てていくのか!?ということについて、重大な責任を感じていた私でした(もちろん今もですが)。ちあ・にっぽんのお働きのおかげで、ホームスクールを知り、何の取柄もない私に、「だから、私が必要なんですよ!」と主が語って下さったように感じ、途中幾度も挫折しそうになりましたが、一歩ずつ歩んできました。まだ、道のりの途中ですが、ありのままの私たち家族のホームスクーリングをお話出来たらと思います。(祐子)

■CSS(チアサポートスクール)

ーホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法!改革365日めのワクワクレポート!

(大阪・東京会場)

稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美

CSSは、全国のホームスクーリングムーブメントの推進を祈り、親と連携し、「魂の救い」、「キリストの弟子のこころを与える」、「伝道・世界宣教」の目的に向かって、ホームスクーラーの弟子訓練と勉強をサポートしています。「ホームスクーリン

グは神様が授けてくれた最強・最新の教育法」を  
 モットーに、その果実の効果的な収穫を目指しま  
 す。分科会1は、CSS チャレンジ編と改革1年を  
 経ての最新情報です。まずは、365日の全体像。  
 新体制での再スタート・通信制ファミランの拡充  
 & バイブルミュージアム・ボランティアについて。  
 1. CSSの目的・天国と伝道と勉強、2. 英数先  
 行学習（英語多読&体系数学）、3. 理社の論述、  
 4. ロードマップ作成とフォロー（ウィークリー・  
 カウンセリング、三者面談、毎週の確認テストと  
 定期テスト）、5. CSSコース紹介（通学制&通信  
 制）。是非、ご参加ください！

#### ■ CSS（チアサポートスクール）Part 2

各教科のメソッド紹介編

（大阪・東京会場） 伊澤聡一郎&恵美・堀井卓

CSSが採用している各教科の取組メソッド（方  
 法）を具体的に紹介。1. 数学（暗算テスト&体  
 系数学&チェック&定期テスト）、英語（多読先  
 行による4技能の育成）、国語（日本語多読/チ  
 ア書籍全読プログラム・古文/文語訳聖句暗唱&  
 古文多読）、世界史（聖書に立つ「世界史」（チア  
 刊）等も用い、聖書的世界での歴史学習）・日本史・  
 化学・生物 2. CSSコース紹介（通学制&通信  
 制）。是非、ご参加ください！

#### ■ 「月城家 荒野と約束の地への歩み」

（大阪会場） 月城 聖一&美和子

新宿で開拓、中国宣教、大阪で開拓と、主に導  
 びかれ歩いていく中で、ホームスクールを通して  
 家族が一つにされる。始めた頃の不安や子どもた  
 ちの反抗、高慢との戦い、主との出会いによって  
 主の働き人として整えられていった素晴らしい恵  
 みについて、私たち夫婦と子どもたちが証しま  
 す。

#### ■ 「英語教材を使ってのホームスクールのメリッ トとチャレンジ～10年の歩みを振り返って～」

（東京会場） 辻 寿&奈央子

主要科目5教科を聖書が土台になっている英語  
 教材を使って10年間ホームスクールをしてきま  
 した。私たち家族は100%日本人、子どもたち  
 の英語圏における海外生活経験は0です。ABC  
 から始めた10年の歩みの中で子どもたちの成  
 長、受けた恵みとチャレンジを分かち合います。  
 A.C.E.（エイシーイー）という私たち家族の使用  
 している教科書についての質問も受け付けます。

#### ■ 「低年齢化する10代の性行動の対策」

（東京会場）

辻岡 健象&敏子

神が人間に、与えてくださった“いのちと性”、  
 私たちが生きていく中で、一番大切ないのちと性  
 の秩序が乱れています。神のかたちに造られ、神  
 の栄光を現す大切な“いのちと性”です。現代の  
 性教育の誤りに対するチアにつぼんの取り組みを  
 中心に、正しいいのちと性のあり方を共に考え、  
 話し合い、その解決策を求めていきたいと思いま  
 す。いのちと性に対する考えや理解の多様化する  
 中で、世の風潮に流されず、時代をリードする生  
 き方と学びを共にしたいと思います。是非ご参加  
 ください。

#### ■ 「中島家のホームスクール」

（大阪会場）

中島 若樹&啓子

去年は長男(19)が千葉県大学へ、長女(17)  
 は大阪市内の専門学校へ入学し、中島家にとって  
 大きな変化を経験した年でした。初めての学校生  
 活を送る長女を朝早く送り出した後、家に残るの  
 は、大人びたことをしたい次男(15)、心身ともに  
 急成長中の次女(12)、遊びたい盛りの三男(9)、  
 はりきり一年生の三女(7)、ママかパパといつも  
 一緒にいたい四女(4)、夜泣きをする甘えん坊の  
 四男(2)の6人の子どもたち。ホームスクーリ  
 ングのチャレンジはまだまだ続きます。ホームス  
 クールで育った上二人の子どもたちが学校に通う  
 ようになって体験したことなどを中心に我が家の  
 様子を分かち合います。

■「父と母と子による

ホームスクーリングの体験談」

(東京会場)

中山 史郎&薫子

私たちがホームスクーリングに至った経緯や子どもたちの成長、試練をみことばと祈りによって乗り越えてきたことや、影響を受けた本などを、父親、母親、子どもの視点からお話したいと思っています。

■「家庭でもできる、理科実験」

(大阪会場)

成田 登

家庭でもできる理科実験を、いくつかご紹介してみます。見て面白く、「なぜ?」「どうして?」という疑問が湧いてくると、学ぶことに対する意欲も違ってくるのでは。自然界の1つ1つの法則は神様によって造られ、秩序が保たれているという観点から学ぶことが出来るのは、ホームスクーリング・チャーチスクーリングの特権なのだと思います。実験レシピをお配りしますので、それぞれの家庭でも試してみてください。学習したことを、資格取得という形にしていくことも提案してみます。高認取得と合わせて、短期的な目標の1つになることと思います。

■「英語カリキュラム GrapeSEED の

効果的な学習」

(大阪・東京会場) 藤原 政信 (グレープシティー)

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネンツから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々により効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われている方々もご参

加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が契約対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をしています。(入門コース CD 2 枚組 (1000 円 + 送料) を購入いただくと、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください)

■「堀井家、ホームスクール 11 年目に!!」

(東京会場)

堀井 卓&ユリ

現在、大学生、浪人生、高校、小学、幼稚園とそれぞれのステージに子どもたちがいます。現場からの報告をさせていただきます。「ホームスクーラーが大学に入ったときに陥る罠」を長男から、「大学に行くための学力の必要性」「なんのために大学を目指すのか?」を浪人 2 年目になった次男から、「友だち、この世から受ける影響」を高校 2 年の長女からそれぞれ聞き取り調査しました。また、三男、四男は、近所の友だちが多く、ホームスクールが近所で受け入れられ、近所の子どもたちにも福音を伝えられている状況をお知らせします。毎日の様子や、上手くいったこと、いかなかったことなど包み隠さずお話しします。また、我が家のホームスクールに関する質問等、できる限り答えさせていただきます。

■「成長させたのは神です

—教会とホームスクーリング」

(東京会場)

堀井 洋二

9 年前にホームスクーリングを始めたこと、4 年前に教会を始めたこと、どちらも私たちにとっては人生の節目となる出来事でした。4 人の子どもたちがみな 20 代になり、一人は結婚し、自宅が教会になり、すべてが大きく変わりました。たくさん葛藤も経験しましたが、真実な恵み深い神様によって、クリスチャンとして、夫婦として、家族として育てられてきたように感じます。チャレンジは常にありますが、家族で一つのチームとして働けることを感謝しています。振り返ると、ホームスクーリングはこのチームを作り上げるた

めのトレーニング期間だったのだなと感じます。ホームスクーラーの視点から、次世代の育成、賜物の理解、教会との関係などについて感じていることをお分かちしたいと思います。

■「育むための権威－子どもの視点から」  
(大阪・東京会場) ピーター・ブロックソム

誰しも自分の子どもには幸せになって欲しいと願うものです。そのために私たちの多くが、子どもたちをスマートフォンやゲームから遠ざけ、毎週教会に連れて行くことに気を取られています。しかし子どもたちの健やかな成長のためには、私たちがどのように保護者としての権威を用いていくかが重要なのです。コロサイ3:21、エペソ6:4から、公正さ、道理、そして正しさに基づいて育てるための権威を、子どもたちの視点から考えます。

“ Authority from a Child’ s Perspective”  
We all want our children to become all that they can be and have a happy life. In order to achieve this, many of us focus on making sure that they stay off of their cellphones and games and are in the right Christian environment. However, for children’ s healthy development, what we really should be worrying about is how we, as parents, exercise our authority. Colossians 3:21 and Ephesians 6:4 reveal an important lesson about authority in regards to nurturing with fairness, reason, and justice as understood from a child’ s perspective.

■「子どもを主のために育てる」  
(大阪・東京会場) マタイ・ブローマン

神様から授かった子どもを何のために育てるか。父(ポール・ブローマン)が残した模範に触れながら、子育ての目的、主の弟子として…皆さんと一緒に考えながら、話を進めたいと思います。

■「あれからの松本家(祈りと主に支えられて)」  
(大阪会場) 松本 明&真寿美

前妻の昇天から早くも11年が経ちました。皆様のお祈りに感謝します。三人の子どもたちも成人し、ほっとしたのも束の間、初孫に続き、我が家には新しい命が与えられました。近況報告をさせていただきます。

■「岐路に立った時の選択 ～ エレミヤ 6:16～」  
(大阪会場) 森山 剛&有佳子

この数年ほど、父が主導して、妻と良いコミュニケーションを築きつつ、子どもたちとも分かち合いながら導くということで、「弟子訓練プランシート」なるものを用いて、子どもたち一人一人の将来の歩みに向けた取り組みを行ってきました。その内容は、これまでチアのコンベンションやセミナー等で分かち合わせていただきました。今回は、将来のビジョンに向けて一步を踏み出して模索中の長女のことを中心に、子どもの将来に親がどうやって関わっていくべきか、御言葉とその実践を踏まえてお話させていただこうと思います。また、いよいよティーンになった長男との微妙な関係の中で、母親として教えられ、悔い改めてきたことなどもお分かちしたいと思います。

■「お受験パパがホームスクールへ」  
(東京会場) 横田 英孝

深く考えず準備もそこそこで、娘が中学2年の時にスタートしたホームスクール。しかし、その後問題が次々と立ちはだかり、あきらめようと思った回数は、数知れず。しかし、こんな準備不足のダメダメな我が家でしたが、綱渡りのようなホームスクールでも神様は憐れみ深く、たくさんの励ましと恵みを用意しておられました。娘は高校1年で高校認定試験を終え、高校2年で軽井沢のSYMEへ行きました。今は、神様が将来どのような道を用意しておられるのか、ワクワクしながら祈り求めている所です。前半は、父がホームスクーリングを通して思ったことを分かち合い、後半は娘が、軽井沢のSYMEでの様子や、アメリカでの短期滞在などを分かち合いたいと思います。